

— 上智大学 —

2月4日 総合人間科・経済・外国語・神学部 英語

解答

大問 1	1. b	2. a	3. a	4. b	5. a
	6. c	7. d	8. a	9. a	10. c
大問 2	11. d	12. i	13. j	14. c	15. e
	16. g	17. h	18. f	19. b	20. a
大問 3	21. d	22. b	23. c	24. a	25. d
大問 4	26. c	27. d	28. b	29. c	30. d
	31. a	32. b	33. c	34. d	35. a
大問 5	36. c	37. d	38. c	39. b	40. b
大問 6	41. a	42. b	43. c	44. d	45. b
	46. c	47. a	48. b	49. c	50. d
大問 7	51. a	52. a	53. b	54. d	55. d
大問 8	56. d	57. a	58. d	59. c	60. c
大問 9	61. a	62. c	63. c	64. c	65. b
大問 10	66. a	67. d	68. b	69. a	70. a
	71. b	72. b	73. d	74. b	75. a

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

[増田塾 2019 解答速報ホームページ](#)

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！

解説

大問 1

(1) Will : まだ退役軍人のカウンセリングはしてるのかい？

Sean : いや。

Will : (1)

Sean : 妻が病気になったときに辞めたんだ。

この流れから、Will が Sean に選択肢(b)「なんでしてないの？」と尋ねたと考えられる。

(2) 空所の直前で「いやいや、もっと幸せなんだろうとは言ってないんだ」と Sean の発言を否定しているので、選択肢(a)「そういう意味じゃないんだ」を入れる。

(3) 直後に「それは大事な質問だ」とあり、Sean は Will の発言に否定的でない判断できるので、選択肢(a)「問題ないよ」を入れる。

(4) Sean : 試合のチケットを買うために、一晩歩道で寝たんだ。

Will : (4)

Sean : うん。

この流れから、Will が Sean に選択肢(b)「(あの)チケットを手に入れられたんだ」と聞いたと考えられる。

(5) Red Sox の伝説的試合のチケットを Sean が手に入れていたと分かり、興奮する Will。Will は Sean に「急いで球場に駆けつけたの？」と尋ねるが、Sean は「いや、急いで行かなかったよ。そこにはいなかったんだ」と返答する。当然 Will は驚きの反応を示すはずで、冷静に「で、どこにいたの？」とはならないはず。したがって選択肢(a)「は？」を入れる。直後に Sean が「バーにいたんだ」と発言しているので、Where を入れてしまった受験生も多いだろうが、ここは 2 人の会話の内容をしっかりと理解して回答したいところ。

(6) これは簡単な助動詞の知識を問うものである。should have Vp.p. 「V すべきだった(でも残念ながらしていない)」

(7) Will : 友達が行かせてくれたの？

Sean : (7)

Will : 友達はなんて言ったの？

Sean : ただ、チケットをテーブルに置いて、「ごめん。女の子に会いに行かないといけないんだ」って言ったんだ。

この会話の流れから、空所(7)には選択肢(d)「そうせざるを得なかったんだ」というような内容が入ると分かる。

(8) 選択肢から、直前のセリフを「誰が」言ったのかが問われているものと分かる。当然、言ったのは Sean なので、選択肢(a)「あなたが言ったことってそれなの？」が入る。

(9) You're kidding me 「冗談だろ」

(10) 直後に(impressed)とあるので、選択肢(c)Wow を入れる。

大問 2

(11) depict～ 「～を描く／描写する／写す」

「スウェーデンにおいて育児休暇を取る父親(を写した)写真の展示会...」

(12) take care of～ 「～の世話をする」

「子供たち(の世話をする)ことで疲弊する」

(13) / (14)

vacuum～ 「(掃除機で)～を掃除する」 / carry～ 「～を抱える」

「背中に赤ん坊(を抱え)ながら床(を掃除する)」

(15) help+O+V原形 「OがVするのを手伝う」

「3人の子どもたちが歯磨きをするの(を手伝う)」

(16) parenting 「子育て」

「(子育て)の写真」

(17) push～ 「～を押す」

「ブランコに乗る子どもたち(を押す)」

(18) leave out (= omit)～ 「～を省く／除外する」

「否定的な感情(を排除する)」

(19) bring up～ 「～を育てる」

「子どもたち(を育てる)」

(20) 「親に(なることに)において必要な苦勞と努力」

大問 3

(21) 空所に当てはまら「ない」のがどれかを選択する問題(リード文に注意)。消去法で考える以外にない。ただ、そうするにしても選択肢(a)~(c)のいくつかは本文に明記されているとは言い難い。全体として時間的制約が厳しいので、この問題に拘泥しないという決断ができるかどうか重要。

選択肢(a)は先行する部分の内容との対比から空所に当てはまると判断する。空所に先行する一文には「映画やテレビはパッとその場を照らしては消えてしまう」という趣旨のことが書いてあり、but を挟んで空所のところでは「一方で写真は…」となっている。その箇所だけでなく、写真はある種の実体を持った an object 「モノ」だという内容は読み取れる。

次に選択肢(b)であるが、これは第 1 段落の要旨から読み取るしかない。そうでなければ、よりはっきりと本文趣旨との合致が確認できる選択肢(c)「収集しやすい」との連動で空所に当てはまらうと判断するしかない。選択肢(b)の cheap 「安い」に若干の無理があるが、大雑把には「生み出すのが安く(cheap)」で「収集しやすい」というわけである。最後の選択肢(c)は以上の通りで比較的読み取りやすい。冒頭でも collect photographs 「写真を収集する」という表現が使われている上に、最終段落も「写真は誰にでも撮ったり手に入れたりすることができる」という趣旨の一文で締め括られている。こうしたことから、どの箇所にもはっきりと根拠となる記述が見当たらない選択肢(d)「必要な」を正解とする。

(22) 下線部の直訳は「結果から自由であること」である。特に consequence 「結果」は「当人の行動に必然的に付随するもの」という意味合いが強い。よって、下線部は改めて「自分がやったことに当然付随する結果を免れる」という趣旨に解することができる。これに最もよく当てはまるのは選択肢(b)「(その 2 人の男は)自分の行動について心配する必要がない」である。選択肢(d)の prison 「刑務所」は本文にその記述が無い。

(23) これもやや難しい。消去法で考える以外にない。下線部の直訳は「写真の奇妙な魔力」である。この箇所の strange 「奇妙な」は次の一文にある mysterious 「神秘的な(奇妙な)」に呼応しており、その語が選択肢(c)「写真は奇妙なものであると同時に具体的なものである」に含まれたのだと素直に考えるしかない。選択肢(c)に含まれる concrete 「具体的な」も気になるところであるが、先の(21)の空所に an object 「モノ(物体)」が入り得ると同様の理由から適切だと判断する。

(24) この問題が最も平易。選択肢(a)「写真は我々に知識と力の感覚を与える」の本文における該当箇所は最終段落第 2 文。他の選択肢もまた、最終段落の記述を根拠に不適切だと判断できる。

(25) 選択肢(d)「(写真は)専門家だけでなく誰によっても撮られる」の本文における該当箇所は最終段落最終文。他の選択肢もまた、およそ最終段落の記述を根拠に不適切だと判断できる。最終段落において選択肢(a)や(b)に含まれる paintings 「絵画」や written statements 「文書」は写真と対比され、異なる性質のものとして語られている。選択肢(c)「(写真は)現代の世界を適切にとらえたものではない」は最終段落第 3 文に矛盾。第 1 段落の後半部分の内容とも真っ向から対立する内容になっている。

大問 4

(26) 「全米における何千もの食中毒の症例に関する(深い)知識は、Bill Marler が外食する際には注文しないであろう物が存在するということを意味する」

(27) 「Marler が彼の食事から(排除した)ものがある」

- (28) 「Marler は、レストランが更なる病気(を防ぐ)ことを強いられている様を見てきた」
- (29) 「レストランチェーンの post-Jack-in-the-Box は、調理方法について再考(を経験し)たと Marler は言った」
- (30) 「今日では、レストランチェーンにおける食中毒の(最も大きな)リスクの多くは、鼻をほじってからブリトーを作った個々の労働者から生じるのだ、と Marler は言った」
- (31) 「素行の悪いレストラン労働者のすることによって、少数の人たちが病気になることはあっても、普通は大流行(の口火を切る)ことにはならないだろう」
- (32) 「しかし、Marler が外食する際には(避ける)物が存在する」
- (33) / (34)
「野菜や肉を調理することで細菌は殺せるが、サラダには汚染の機会が(数えきれないほど)存在する(生の)食べ物が含まれている」
- (35) 「(加工)施設でそれを混ぜて切り刻むと、そうなるのもやむを得ない」

大問 5

- (36) 「カンの母と父はどうやってカンを宥めようとしたか？」
第 3 行目から始まる一文に「父は(私を宥めるのを)諦めたが、母は私をキッチンに連れて行きテーブルに座らせた」とあり、それ以降に折り紙を折って見せて私(カン)を宥めたとある。
- (37) 「カンの母は紙の虎に命を与えるために何をしたか？」
第 11 行目から始まる一文に「そして母は折りあげた紙の塊を口元にもっていき、フッと息を吹き込んだ」とあり、それに続いて「“カン(私の名前)、トラ”と言ってテーブルに手を下ろし、手を退けた。そこには小さな紙の虎が立っていた」とある。折り畳まれた、ただの紙が「虎になった(=命を与えられた)」のは母が息を吹き込んで膨らませたから。
- (38) 「カンの父が初めてカンの母にあった時、一番の問題は何だったか？」
第 26 行目から始まる一文には「カタログには彼女(後にカンの母親になる女性)は 18 歳で、ダンスが好きで、香港生まれなので英語が堪能とあったが、後にすべて嘘だと分かった」とあり、第 30 行目から始まる一文に「(カタログを作った)会社の人間が彼女の返事を代筆していたのだ。彼女が英語で言えるのは『ハロー』と『バイバイ』だけだった」とある。選択肢(d)「米国のビザ」の問題は本文のどこにも見当たらない。
- (39) 「父が自分の母をカタログから選んだことについてカンはどう感じたか？」
第 33 行目からの文に「高校生になる頃には、(父と母の出会いについて)何から何までほとんど分かっていたと思う。軽蔑は心地よかった。ワインみたいに」とある。父と母の出会いについて著者の気持ちや意見が述べられているのは上記の箇所以外にない。

(40) 「a cornered bird の意味は何か？」

A cornered bird は「(隅に)追い詰められた鳥」の意。第 51 行目の文の(a cornered bird が)struck back 「やり返した」という述部から「追い詰められた」を推測したい。なぜ cornered 「隅に置かれた」が「追い詰められた」の意味になるかは、例えばボクシングの試合で、四隅の一つ(corner)で打ち合ってるボクサーの姿を想像してみると分かるだろう。

大問 6

(41) in one's time 「以前に／これまでに」

Bullard : そうだ。私は((a)以前に)財を成し、そして失ったのだ。

(42) Bullard : ((b) もうそれを話したかな?)

Stranger : 2 回ですね。

(43) take back ~ 「~を取り戻す」

「その時代を取り戻すことはできないだろう(=もうあの日には戻れないだろう)」

(44) Stranger : そうですね。すみませんが、犬をどこかに移動((d)してもらえませんか?)

(45) Bullard : ...((b)何故だか分からない)が、ヤツはそれをクンクン嗅ぐのだろう。

(46) Bullard : ...食事で足りていないものがあるに違いない。ああ、私((c)よりちゃんと食べている)のに。

(47) 最近ほど多くの機会があることは今までなかった。

There have been many opportunities. / There are many opportunities.

上記の 2 文を比較した文である。

(48) Bullard : ...物理学の世界に行け！エレクトロニクスの世界に行け！だから、これ以上チャンスがない((b)なんて話をするな)。

「チャンスが豊富にある」という趣旨の発言を受けてこのセリフがあると考えれば良い。

(49) Bullard : チャンスは国中のあらゆるドアにノックをして((c)入ろうとしている)。

(50) 最後の部分でお別れのセリフを言っている。

I've got to be on my way. 「もう帰らなくてはいけない」

大問 7

(51) I look at → I looked at

文頭に A few weeks ago という過去の表現があるので、過去時制にする。

(52) On 1985 → In 1985

「週・月・年・季節」には in を、「日付・曜日」には on を付ける。

(53) conversation about the → conversation about

定冠詞の the に関する問題。通常、gratefulness のような抽象名詞には定冠詞は付かない。

(54) We grown used → We had grown used

grown を単独で述部で用いることはない。この文章の起点は過去なので、現在完了ではなく過去完了形にする。

(55) A few of → A bit of

few は可算名詞に付く形容詞。racism は不可算名詞であるため、ここでは不適。a bit of～「少量の～」に直す。

大問 8

(56) 「それは、(相互の)有用性に興味を抱く 2 人の人間の関係ではないのだ」

(57) 「元来、設備投資から(利益)を生み出すために物を作るのである」

(58) 「製品や(サービス)を売るつもりなら“個性”を持たなければならない」

(59) 「それゆえ、自信とは他人がその人について何を思うかということに関する(しるし)に過ぎないのだ」

(60) 「自尊心が“個性”の成功に(よる)ということが、現代人にとって、人気が非常に重要な理由なのである」

大問 9

(61) learn～by heart 「～を暗記する」

(62) oil は不可算名詞であるため、few ではなく little が付く。that 以下に「その結果としてほぼ完全に輸入に頼っている」とあるので、準否定の働きをする選択肢(c) little を使うしかない。選択肢(a) a little だと肯定的な意味になる。

(63) 「メアリーは、長い時間をかけて勉強したにもかかわらず、中国語があまり上達しなかった」という逆接の意味になるため、選択肢(c) Despite～「～にもかかわらず」を正解とする。

(64) 命令文..., or～「...しなさい、さもないと～だろう」

今回は must を用いた文であり、命令文に準ずるものである。

(65) 主節の would get に注目すると、仮定法過去の文であることが分かる。したがって if 節内では過去形を用いる。

大問 10

- (66) evolve [ɪvɒlv]
 (a) convince [kənˈvɪns] (b) future [fjuːtʃər]
 (c) handle [hændl] (d) marble [mɑːrbl]
- (67) humanity [hjuːmænəti]
 (a) favorite [feɪvərət] (b) celebrate [séləbreɪt]
 (c) masculine [mæskjələn] (d) adventure [ədventʃər]
- (68) manipulate [mənɪpjələɪt]
 (a) accuracy [ækjərəsi] (b) anxiety [æŋzɪəti]
 (c) ceremony [sərəmɒni] (d) consultation [kənsəlteɪʃən]
- (69) responsibility [rɪspɒnsəbɪləti]
 (a) autobiography [ɔːtəbaɪɔːgrəfi] (b) individualism [ɪndəvɪdʒuəlɪzəm]
 (c) grammatically [grəmətɪkəli] (d) companies [kʌmpənɪz]
- (70) artificial [ɑːrtɪfɪʃəl]
 (a) distribution [dɪstrɪbjúːʃən] (b) efficiency [ɪfɪʃənsi]
 (c) practitioner [præktɪʃənər] (d) hypothesis [haɪpəθəsis]
- (71) intelligence [ɪntélɪdʒəns]
 (a) information [ɪnfərməɪʃən] (b) expenditure [ɪkspéndɪtʃər]
 (c) controversy [kəntroʊvɜːrsi] (d) dictionary [dɪkʃənəri]
- (72) terribly [tərəbli]
 (a) abolish [əbəlɪʃ] (b) consequence [kənsəkwəns]
 (c) deposit [dɪpəzət] (d) guarantee [gærəntiː]
- (73) eventually [ɪvɛntʃuəli]
 (a) imagination [ɪmædʒənəɪʃən] (b) opportunity [ɒpɔːtjuːnəti]
 (c) probability [prəbəbɪləti] (d) particularly [pɑːtɪkjələrli]
- (74) intellectual [ɪntələktʃuəl]
 (a) recommendation [rɛkəmɛndəɪʃən] (b) anniversary [ænɪvɜːrsəri]
 (c) initiative [ɪnɪʃətɪv] (d) consultancy [kənsəltnəsi]
- (75) capabilities [kəpəbɪlətɪz]
 (a) manufacturer [mænɪfæktʃərər] (b) participation [pɑːtɪsəpɛɪʃən]
 (c) conference [kənfrəns] (d) laboratory [ləbərətɔːri]

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

増田塾 2019 解答速報ホームページ



早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！